

第26回大分県民芸術文化祭 開幕行事

～映像と生演奏・舞踊・演劇の芸術コラボレーション～

KAGUYA



2024

10.6 日

13:30 開演

12:30 開場 | 16:30 終演 (予定)

会場

iichiko グランシアタ

〒870-0029 大分県大分市高砂町2番33号
iichiko 総合文化センター

入場料

2,000円

[全席自由席]

チケット情報は裏面をご確認ください

[主催・制作] 大分県現代箏曲研究会 / 大分県邦楽合奏団「YUME」 / 大分県民芸術文化祭実行委員会
[後援] 大分県 / NPO法人大分県芸振 / 大分合同新聞社 / 別府大学・別府大学短期大学部
大分県三曲協会 / TOSテレビ大分 / JCOM大分ケーブルテレコム / 大分市教育委員会

Story

あらすじ

遠い昔、天界(月)で罪を犯した妹(かぐや)をかばい下界へと落とされた兄(閃太郎)。兄を天界に連れ戻そうと(かぐや)は自ら下界へと降りた。

神の子としての記憶を失い、年老いた夫婦に育てられ新たな人生を歩み始めた兄妹だったが、徐々に自分の使命を思い出していく。

月の世界、人の世界、様々な経験を通して二人が成長していく姿を映像、生演奏、演劇、舞踊で表現する総合舞台劇。

Guest

当日ゲスト

作曲家・箏奏者
中井 智弥氏



三重県津市出身。箏・三絃・二十五絃箏演奏家。作曲家。六歳より箏、十二歳より三絃を始め、東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。音域の広い二十五絃箏を駆使し、箏の持つ可能性と芸術性を追求している。自らが作曲・編曲する作品は、日本の古典文学、伝統芸能の能、世界の神話などを題材にし、オリジナリティに溢れ、伝統とモダンをミックスしたスタイルを確立している。

舞踊家
梅川 壱ノ介氏



大分県日田市出身、新潟大学卒。東京バレエ団、歌舞伎俳優を経て、2016年に日本舞踊を基本とする舞踊家に転身、師匠は人間国宝坂東玉三郎氏。日本の古くから伝わる古典作品はもとより、現代アートとの融合作品、オーケストラとの共演など、様々なコラボレーションを手掛け、新しい世界、可能性を切り拓く、新進気鋭の舞踊家である。水郷ひた観光親善大使。

チケット

- チケットぴあ (7/15発売開始予定) Pコード:527851
- J:COMホルトホール大分1F 総合受付カウンター
- メールアドレス: kaguya20241006@gmail.com
- お問い合わせ番号: 090-1194-9320 (仙波) ※ショートメールのみ対応



最新の情報は
コチラから

大分県現代箏曲
研究会ホームページ



キャスト & スタッフ

脚本・演出 佐倉 吹雪

原案・アニメーション総監督 甲元 隆則

原作 原田 佳夏

音楽 中井 智弥(ゲスト)
大分県邦楽合奏団「YUME」
大分県現代箏曲研究会
永見 政子
高橋 かおり(Vn)
日永 早紀
安部 えつ子(CI)
吉浦 セリーナ 友衣(Vn) 他

舞踊&振付 梅川 壱ノ介(ゲスト)
花柳 嘉恵富(小野 ひとみ)(ゲスト)
秋月 淳司(ゲスト)
荒金 ゆかり
土屋 友 他

演劇 演劇集団P-nuts
佐伯こどもミュージカル 他

タイトル・ポスターデザイン 根之木 英二

アニメーション Ron2studio
別府大学Project Colorante
株式会社Olive
シェアードクリエイション株式会社

衣装・美術・道具 鈴木 淑子
米持 広美
長瀨 桂子
丸岡 あすか 他

舞台 株式会社テイクファイブ
さとう楽器店

映像収録 WANピクチャーズ

ポスター・プログラム作製 株式会社green circle
神本 チヒロ(着付け・ヘアメイク)
紅葉谷 昌代(撮影)

総合企画&プロデュース 仙波 歌月